



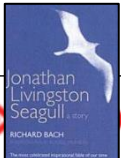
香寺図書通信

香寺高等学校
図書委員会
R2.5.25
No.8

桜の季節が過ぎ、サツキも終わり、アジサイの花が色づく時季になりました。梅雨入りが気になる今日この頃。本来ならば5月考査を終えて、答案が続々と返ってきた頃でしょう。答案を見ると一喜一憂しますよね。勉強に行き詰まるとよくこんな疑問を持ちませんか？「なんで勉強するの？」って。この答えは絶対に一つであるはずないですよね。そこで、その手がかりになるような一文をここで紹介しておきます。「それは〈自由〉になるためです」「〈自由〉に生きるためには、そのための『力』がいる。その『力』をつけるために、わたしたちは勉強しているのです。」(苫野一徳著『勉強するのは何のため？—僕らの「答え」のつくり方』日本評論社)



「Jonathan Livingston Seagull」
Richard Bach
周囲と異なる生き方をあえて選んだ一羽のカモメの不思議な物語。単に餌を見つけるために空を飛ぶのではなく、決まりきった退屈な生活に仲間たちを閉じ込めている障壁を打ち破るために、カモメのジョナサンは、より速くより高く大空を飛翔します。私たち人間も自らの夢と興味を追うべきであり、日常の束縛から自身を解放すべきだという思いが込められています。



「12 Angry Men」
罪に問われた少年の裁判で、陪審員が評決に達するまで一室で議論する様子を描く。全陪審員一致で有罪になると思われたところ、ただ一人の陪審員だけが少年の無罪を主張する。彼は他の陪審員たちに、固定観念に囚われずに証拠の疑わしい点を一つ一つ再検証することを要求する。一人の陪審員の熱意と理路整然とした推理によって、当初は少年の有罪を信じきっていた陪審員たちの心にも徐々に変化が訪れる。



「Top of the World」
Carpenters
カーペンターズは英語のリスニングに最適な曲です。綺麗な発音や発声で有名で、歌い方がとても分かりやすい曲調となっています。中学生の英語の教科書にでてくるような言葉を使った、フレーズや言い回しが多く、短いフレーズにまとめられているのが特徴的です。韻も踏んでいて、素敵な言い回しが多く、耳に残る名曲となっています。



6月開館予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	○	○	○	○	○	×
7	8	9	10	11	12	13
×	○	○	○	○	○	×
14	15	16	17	18	19	20
×	○	○	○	○	○	×
21	22	23	24	25	26	27
×	○	○	○	○	○	×
28	29	30	変更になる可能性があります。図書室前のカレンダーで確認してください。			
×	○	○				

おすすめ図書を香寺図書通信で紹介していきたいと思います。是非この1冊だけでもみんなに読んでほしい！紹介したい！という図書があれば、どなたでも大歓迎です。匿名でも大歓迎。書名・著作者・簡単な紹介文を書いて図書委員や図書の先生に渡してください。用紙は図書室にあります。メモ用紙でも良いですよ！みなさんからのおすすめ図書紹介お待ちしております！